

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第76回

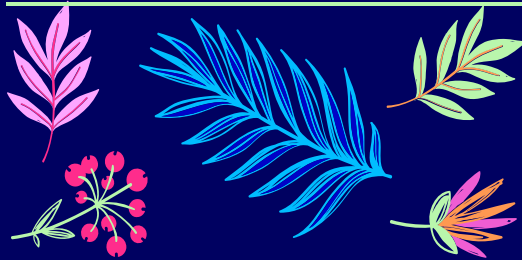
『「困った人々の哀願の前」 ～ 自己を犠牲にする愛情 ～』

2021年9月26日 定例の『東久留米がん哲学外来・カフェ』（東久留米市スペース105に於いて）が開催された。4組の個人面談もあり、大変貴重な時となった。その後、同じ会場で、読書会であった。今回は、内村鑑三著『代表的日本人』（鈴木範久 訳、岩波文庫）の『西郷隆盛 ～ 新日本の創設者』の5節と6節の途中まで音読した。「強さにかけては 人後に落ちない西郷も、困った人々の哀願の前には 無力にひとしい存在でありました。」、「友好のしるしとして、自己の生命、自己の名誉、自己の一切を犠牲にするに至ったのかもしれません。」、「最後のサムライで あったのではないかと思います。」、「西郷ほど 生活上の欲望のなかった人は、他にはないように思われます。」と内村鑑三（1861-1930）は記述している。『ラスト サムライ』（The Last Samurai : 映画監督 : Edward Zwick）は、西郷隆盛（1828 - 1877）をヒントにしていると言われている。

次回は、新渡戸稲造（1862-1933）の『武士道』/内村鑑三の『代表的日本人』読書会14周年記念、『東久留米がん哲学外来 in メディカル・カフェ』13周年記念、『東村山がん哲学外来デイカル・カフェ』7周年記念の合同シンポジウム『秋の贈り物 樋野興夫 講演会』が企画されている（画像1）。冊子『OKIちゃん言葉の旅』（画像2）の出版記念シンポジウムともなろう。皆様の熱意溢れる愛情と胆力には、ただただ感服である。

新渡戸稲造「武士道」内村鑑三「代表的日本人」読書会 周年記念
東久留米がん哲学外来 メディカル・カフェ 周年記念
東村山がん哲学外来メディカル・カフェ 周年記念

秋の贈り物 樋野興夫講演会



● 年 10 月 24 日(日) ●

● 時 時半 受付 13 時 40 分より ●

● 東久留米成美教育文化会館・大研修室 ●

● 定員 35 名 参加費 300 円 (当日受付にて)

必ずメールにてご予約下さい

予約・お問合せ

東久留米がん哲学外来 メディカルカフェ

Higashikurume.gg@gmail.com

OKI-chan's Journey to Memorable Words

OKIちゃん 言葉の旅



OKI-chan
ki ngfi sher

Spring Water from the Heart
心のSpring water (湧き水) 編